



集落のはずれにある伝・在原業平の墓(写真左上)。業平の菩提寺と伝承される正法院(同左下)。在原集落を流れる川の名は竜田川(同右)。



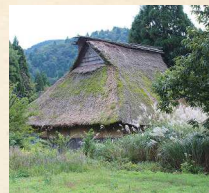
# 在 原

伝説と歴史の舞台を歩く

## マキノの隠れ里に在原業平はいたのか!?

<b>DATA</b> 高島市
●歩行距離▶約2km
●歩行時間▶約30分

在原を有名にした茅葺き屋根の民家集落は、3年前の火災で現在は数軒ほどになったという。この地は標高約300mの盆地で、豪雪地帯としても知られている。冬になるとこれらの民家が雪にすっぽりと埋まるらしい。厳しい自然の中で暮らす人々のたくましが伝わってくる。



茅葺き屋根の家

高島市マキノ町の北部、福井県境に近い山間部に「在原」という在所がある。平安時代の歌人在原業平にまつわる伝承から付けられたという。

在原業平(825~880)は、六歌仙・三十六歌仙の一人。天皇家の血を引く都の貴人が、隠れ里のようなこの地と、なぜゆかりがあるのかは定かでない。ただ、業平が晩年に隠遁したという伝説があり、集落のはずれの山林の中に、在原業平の墓と伝えられる宝篋印塔がひっそりと佇んでいる。

日本ののどかな農村の原風景を今に伝える在原ののんびりと散策していると、集落の真ん中を流れる川の名を見てふと足が止まった。

「竜田川?」

「古今和歌集」にある業平の和歌「ちはやぶる 神代も さかず 竜田川 からくれなるに 水くるとは」の歌枕だ。この歌に詠まれた竜田川は奈良の紅葉の名所とされており、当地の川は業平の伝承にちなんで後に付けられたのかもしれない。集落を西へ少

し下ると正法院がある。門前の石柱には「伝承 在原業平菩提寺」と刻まれ、山号は「歌学山」。歌人らしい業平の息吹が伝わってくるようだ。

集落の散策にはそんなに時間はかからないが、観光地ではないので、地域住民の方に迷惑がかからないように注意を払いたい。

### “Walk on”とは

「歩き続ける」という意味の他に、舞台をちょっと歩くだけの通行人のような「端役」の意味があります。多彩な伝説や物語をもつ歴史豊かな「近江」という舞台を、登場人物のひとりになった気分で歩いてみてはいかがでしょうか。



在原停留所	8分	在原業平の墓	8分	在原停留所	
竜田川	3分	日吉神社	2分	正法院	5分

※移動時間はあくまでも目安です(休憩時間等含まず)。  
 ※定時乗合タクシー(マキノ北西部線)を利用する場合、JRマキノ駅から「在原」まで約25分(1日4往復程度なので発着時間を要確認)。

バックナンバーをKEIBUNホームページ「湖国滋賀ウォーキングマップ」で公開中!  
<http://www.keibun.co.jp>

